

青森県立保健大学附属図書館だより

Rapport

NOVEMBER 2014 NUMBER

23



★ **三つの図書館の記憶 -Transition-**

青森県立保健大学 学長 上泉 和子

★ **特集 BOOK HUNTING 2014**

栄養学科学生 2名 理学療法学科学生 2名
社会福祉学科学生 3名 看護学科学生 1名

★ **新企画 図書館活用術**

教育資源としての図書館を活用する可能性と意義

青森県立保健大学 栄養学科 准教授 浅田 豊

★ シリーズ **図書館を使いこなそう**

第23回 「複写依頼を申請したら…」

『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します

Rapport : フランス語で、関係・関連・類似点



このところ「移行（トランジション Transition）」というテーマに没頭していました。Transition は、「転機」「節目」「過渡期」といった日本語があてられますが、頭の中が「トランジション Transition」でいっぱいなので、ここでは、私の「節目」になった三つの図書館について書いてみたいと思います。

図書館との出会い



本との出会いは子供のころの母の子守歌と絵本の読み聞かせでした。安寿と厨子王が離れ離れになる場面では何度となく涙したものです。シンデレラや白雪姫といった飛び出す絵本や、図鑑も大好きでした。ここまでは、家庭の中での話です。

さて、今年の夏休みに、小学校の恩師である佐藤亘先生のもとを訪れました。なぜ恩師の佐藤先生のことを書いたかと言うと、佐藤先生は、本を読むことをきっかけに図書館というものに私を誘ってくれた、恩人ともいえる大切な方だからです。

佐藤先生は、毎朝、小説を朗読してくれました。本のタイトルはヴィクトル・ユゴーの「ああ無情（レ・ミゼラブル Les Misérables）」でした。たった1本のパンを盗んだことで19年間もの長い間牢獄での生活を送ったうえ、服役後も不遇の生活を送る主人公が、司教に巡り合うことで魂の救いに出会い、最後は聖人になるというジャン・ヴァルジャンの生涯を描く作品です。たいへん重い主題の本でしたから、ワクワク、ドキドキという感情ではありませんでしたが、次はどうなるだろうか気になって、明日の朗読を待っていたことを覚えています。佐藤先生の朗読に接することで、私は自分で小説を読みたいという思いに掻き立てられ、それまで足を踏み入れたことのない図書館に入ってみることにしたのです。七戸小学校の小さな、小さな図書館でしたが、入ってみるとなんとたくさんの



書物が！これが私の最初の図書館との出会いでした。図書館は好奇心を満たしてくれる「たくさん本があるところ」でした。

大学の図書館

小学校での図書館との出会いの後、しばらくは体育会系のサークルで過ごしていましたので、図書館にはご無沙汰でした。そんな中で、次なる図書館との出会いは大学に入ってからです。人生のたくさんの扉を開けてくれたのが大学の図書館でした。特に大学院時代は図書館に入り浸っていました。大学院で抱えている課題を解決できるところこそ、図書館だったのです。

初心者の研究者であれば誰でも経験することかもしれませんが、ご多分にもれず私も研究テーマと文献との間を行ったり来たりしました。テーマをしぼって文献を検索し調べてみると、すでに優れた研究がたくさん紹介されていることに愕然とし、テーマを考え直して、そしてまた文献にあたって……。自分の知識がいかにチッポケなものだったか思い知らされ、そして知識の奥深さや膨大な“知”の量に圧倒されることで、知識に対して真摯になることを余儀なくされた経験でした。

図書館のもう一つの定義

三つ目の図書館との出会いは、エール大学の図書館です。想像をはるかに超える歴史がつまった巨大な空間でした。ハリー・ポッターに出てくる食堂のようといえば想像がつくでしょうか。高い吹き抜けのホールの周囲には何階にもわたって、書架が並んでいます。叡智 (Wisdom) がそこに結晶したかのように、私を圧倒してきます。しかもところどころに梯子が掛けられ、今もなお書物が生き生きと読まれ続けていることを物語っています。

Rapport No.19 に掲載されているパメラ・ミナリク先生の記事に、『・・・ニューヨーク市立図書館 (New York Public Library (NYPL)) のウェブサイトは、ライブラリを「人類の記憶、人類の思考と行為を記録したドキュメントのかけがえのない保管所」だと言う。・・・』と、紹介されています。

学生として、専門職として、教育者として、研究者として、管理者として、これから様々な立場を経験することでしょう。どんな時も、まさに人類の歴史そのものがそこにあるそんな空間に身をおいてみましょう。きっと何かがヒラメクはず。

注：トランジションとは外的な出来事 (Change) ではなく、人生の変化に対処するために必要な内面の再方向付けや自分自身の再定義をすること (Transition) である。古い状況から抜け出し、過渡期のどっちつかずの混乱を経験し、それから新しい状況に向かってふたたび前進し始めるという、プロセスである。それは、①「終わり」：何かが終わる時期、②「ニュートラル・ゾーン」：混乱や苦悩の時期、③「始まり」：何かが始まる時期の3つのステップをたどる。

ウィリアム・ブリッジズ著、倉光修、小林哲郎訳 (2014)：トランジションー人生の転機を活かすために。パンローリング。William Bridges(2004):TRANSITIONS -Making Sense of Life's Changes, Da Capo Press. U.S.

BOOK HUNTING 2014

今年はどうなラインナップでしょうか。
特集で一挙大公開です。



4回目となったブックハンティング。
書店に「ブックハント」に行った学生さんが、
図書館にたくさんさんの「収穫」を
もたらしてくれました。



て、夏休み中に本に没頭することができました。
またこのような企画があったらぜひ参加し
たいです。



『日本男児』
長友佑都
ポプラ文庫
ポプラ社
783.47||N24



『サマーウォーズ』
岩井恭平著
細田守原作
角川文庫
913.6||I93
(C)角川書店

ブックハンティングは図書館にあったらいいなと思う本を自分で選べる企画ですが、それは自分が読みたい本を自由に選べるという素晴らしい企画だと思います。ブックハンティングに参加して、本を読む機会を意識的に増やし

執筆者本人の希望で、一部の文章は匿名となっています。

Rapport no.23



特集◆BOOK HUNTING 2014◆



『ポニーテール』
重松清
新潮文庫
新潮社
913.6||Sh28



『晴天の迷いクジラ』
窪美澄
新潮文庫
新潮社
913.6||Ku11



『金閣寺』
三島由紀夫
新潮文庫
新潮社
913.6||Mi53



『春を背負って』
笹本稜平
文春文庫
文藝春秋
913.6||Sa76



『明日のマーチ』
石田衣良
新潮文庫
新潮社
913.6||I72



『きりこについて』
西加奈子
角川文庫
913.6||N81
(C)角川書店



『思い出のマーニー』
ジョン・G・ロビンソン著
高見浩訳
新潮文庫
新潮社
933.7||R54



『やわらかなレタス』
江國香織
文春文庫
文藝春秋
914.6||E44



『四十一番の少年』新装版
井上ひさし
文春文庫
文藝春秋
913.6||I55



『白いへび眠る島』
三浦しをん
角川文庫
913.6||Mi67
(C)角川書店



『カンガルー日和』
村上春樹
講談社文庫
講談社
913.6||Mu43



『塩の街』
有川浩
角川文庫
913.6||A71
(C)角川書店



『青天の霹靂』
劇団ひとり
幻冬舎文庫
幻冬舎
913.6||G32



『ふたり』
赤川次郎
新潮文庫
新潮社
913.6||A29



『どまんなか』3
須藤靖貴
講談社文庫
講談社
913.6||Su14





『その本の物語』
上
村山早紀
ポプラ文庫ピュア
フル
ポプラ社
913.6||Mu62||1



『その本の物語』
下
村山早紀
ポプラ文庫ピュア
フル
ポプラ社
913.6||Mu62||2



ブックハンティングに
参加してみて

栄養学科 1年

私はこのブックハンティングで「心霊探偵八雲」という本を選びました。シリーズものですが、文庫本になっている8巻までを買ってきました。赤い目をもつ八雲と主人公のはるかとの関係が、シリーズを通して変化していく様子が私はとても好きです。ぜひ他の人にも読んでもらいたいです。

図書館に自分の好きな本を置ける機会は少ないと思うので、またこのような機会があれば、来年もブックハンティングに参加したいです。



『星やどりの声』
朝井リョウ
角川文庫
913.6||A83
(C)角川書店



『もういちど生まれる』
朝井リョウ
幻冬舎文庫
幻冬舎
913.6||A83



『サマーサイダー』
壁井ユカコ
文春文庫
文藝春秋
913.6||Ka11

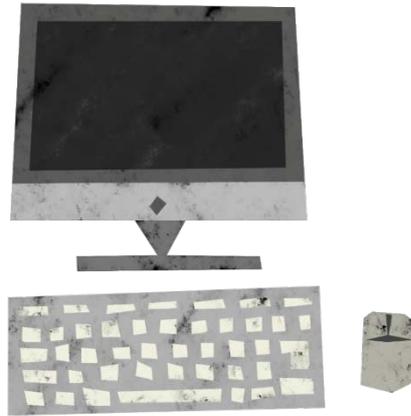


『私たちが星座を盗んだ理由』
北山猛邦
講談社文庫
講談社
913.6||Ki74



『お近くの奇譚
〜カタリベと、現代民話と謎解き
茶話会〜』
地図十行路
メディアワークス文庫
株式会社 KADOKAWA
アスキー・メディアワークス
913.6||C49

特集◆BOOK HUNTING 2014◆



『「弱くても勝てます」：開成高校野球部のセオリー』
高橋秀美
新潮文庫
新潮社
783.7||Ta53



『昨夜のカレー、あした明日のパン』
木皿泉
河出書房新社
913.6||Ki97



『赤い瞳は知っている』
心霊探偵八雲 1
神永学
角川文庫
913.6||Ka37
(C)角川書店



『魂をつなぐもの』
心霊探偵八雲 2
神永学
角川文庫
913.6||Ka37
(C)角川書店



『闇の先にある光』
心霊探偵八雲 3
神永学
角川文庫
913.6||Ka37
(C)角川書店



『守るべき想い』
心霊探偵八雲 4
神永学
角川文庫
913.6||Ka37
(C)角川書店



『つながる想い』
心霊探偵八雲 5
神永学
角川文庫
913.6||Ka37
(C)角川書店



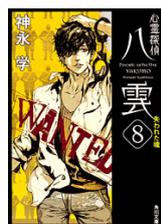
『失意の果てに』上
心霊探偵八雲 6
神永学
角川文庫
913.6||Ka37||1
(C)角川書店



『失意の果てに』下
心霊探偵八雲 6
神永学
角川文庫
913.6||Ka37||2
(C)角川書店



『魂の行方』
心霊探偵八雲 7
神永学
角川文庫
913.6||Ka37
(C)角川書店



『失われた魂』
心霊探偵八雲 8
神永学
角川文庫
913.6||Ka37
(C)角川書店



『SECRET FILES: 絆』
心霊探偵八雲
神永学
角川文庫
913.6||Ka37
(C)角川書店



私のおすすめ図書

理学療法学科 2年 Y・K

今回のブックハンティングでは「忘却のレーテ」と「さよなら神様」の2冊を選びました。「忘却のレーテ」は、両親を事故で亡くした主人公が、レーテという忘れさせる薬の試薬実験の被験者として実験に参加するところから始まり、最後まで読まなければ何が起きているのかわからない展開になっています。「さよなら神様」は“神様”と呼ばれるクラスメイトを持つ小学生の主人公の周りで起きる殺人事件

を推理するもので、登場人物の心情の移り変わりが面白い不思議な物語でした。今回のブックハンティングでは本の最初の1行を読んで、直感的にこの本を選ぶかどうか決めました。上記の2冊は最後まで展開が読めず、読みごたえがあってとても面白かったです。是非図書館に来て読んでみませんか。



『忘却のレーテ』
法条遥
新潮社
913.6||H81



『さよなら神様』
麻耶雄嵩
文藝春秋
913.6||Ma98



『アリス殺し』
小林泰三
創元クライム・クラブ
東京創元社
913.6||Ko12

執筆者本人の希望で、一部の文章は匿名となっています。



昨年に引き続きブックハンティングに参加しました。今年は昨年よりも期間が延び、参加しやすかったです。

ブックハンティングは、自分の読みたかった本や「面白そうだな」と感じる本を選ぶことができるのでとてもいい機会だと思います。普段、忙しくてゆっくり本を読むことができないので、夏休み期間中まで行われているハンティングは、本を読むきっかけとなります。今回私は宮部みゆきの本をはじめ、5冊の本を選びました。休み期間中にすべてを読むことはできませんでしたが、普段とは違うタイプの本にわくわくしました。これから、残りの本を少しずつ読み進めていきたいと思っています。どうもありがとうございました。



『誰か
Somebody』
宮部みゆき
文春文庫
文藝春秋
913.6||Mi71



『夜のピクニック』
恩田陸
新潮文庫
新潮社
913.6||O65



『名もなき毒』
宮部みゆき
文春文庫
文藝春秋
913.6||Mi71



『グラウンドの空』
あさのあつこ
角川文庫
913.6||A87
(C)角川書店

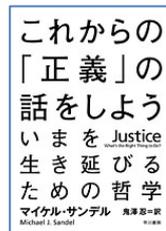


『ペテロの葬列』
宮部みゆき
集英社
913.6||Mi71





『ソーシャル・ウーマン:社会に貢献できるひとになる』
坂東真理子
ブックエンド
304||B18



『これからの「正義」の話:いまをJustice生き延びるための哲学』
マイケル・サンデル
鬼澤忍訳
早川書房
311.1||Sa62



『よく生きよく笑いよき死と出会う』
アルフォンス・デーケン
新潮社
114.2||D53



今回二回目のブックハンティング参加となりました。ブックハンティングで本を選んでいく時に、とてもいい本を発見し自費で購入しました。素晴らしい本に出会うことができ、参加してよかったと思っています。ありがとうございました。思いもよらない出会いがあるかもしれないので、ぜひ多くの人に参加していただきたいと思います。

今回選んだ本の中でこの場を借りて紹介させていただきたいのは、「翔ぶ少女」という原田マハさんが書かれた作品です。これまで原田マハさんの作品を読んでいませんでしたが、有名な方でありましてこの機会に手に取りました。最初はタイトルから「幸せそうな作品」と



という印象を持って読んだのですが、「生きる」ということについて考えさせられ、登場人物たちの気持ちに涙が誘われるような感動作品でした。阪神淡路大震災時に足を負傷し、その怪我がもとで足に障害を抱える女の子が主人公で、彼女をはじめとする人々の成長と環境の変化などが描かれています。その過程に起きる出来事は、読む人によって様々な観点から見ることができ、福祉の観点で言えば、「心のケア」や「地域福祉」などについて考えることができると思います。また、タイトルをはじめとして

「とぶ」「翼」「羽」などの言葉やそれを思わせる場面が登場しますが、この作品における「羽」はかなり重要な立ち位置にありました。私はこの作品を読んでみて、「とぶ」ことは単に自由を象徴するような表現ではなく、行動力や一歩前へ踏み出す勇氣のような意味も含まれているのではないかと感じました。主人公たちにとって、「羽」はどのような意味を持っているのか、という部分にも注目して読んでいただきたい一冊です。



『嫌われる勇氣：
自己啓発の源流
「アドラー」の教え』
岸見一郎/古賀史健
ダイヤモンド社
146.1||Ki58



『さようなら、
オレンジ』
岩城けい
筑摩書房
913.6||I93



『翔ぶ少女：
Νίκη της Σα
μοθράκης』
原田マハ
ポプラ社
913.6||H32



『カラフル』
森絵都
文春文庫
文藝春秋
913.6||Mo45



『想像ラジオ』
いとうせいこう
河出書房新社
913.6||I89



『殺人鬼』覚醒篇
綾辻行人
角川文庫
913.6||A98
(C)角川書店



『殺人鬼』逆襲篇
綾辻行人
角川文庫
913.6||A98
(C)角川書店



『緋色の囁き』
綾辻行人
講談社文庫
講談社
913.6||A98



『黄昏の囁き』
綾辻行人
講談社文庫
講談社
913.6||A98



『鳩のなかの猫』
アガサ・クリスティー著
橋本福夫訳
ハヤカワ文庫
クリスティー文庫
早川書房
933.7||C58



『カーテン:ポアロ最後の事件』
アガサ・クリスティー著
田口俊樹訳
ハヤカワ文庫
クリスティー文庫
早川書房
933.7||C58



『風のなかの櫻香』
内田康夫
徳間文庫
徳間書店
913.6||U14



社会福祉学科 3年

山上 稚葉

今年は他の人に譲ろうか、友達ともそう話していたにも関わらず、またしても参加することになったブックハンティング。三回目の参加ということもあって、ネタがない。趣味に走ろうか、もっと一般受けするものにしようか、迷いに迷った挙げ句、今年も自分が好きなミステリー、前から気になっていた作家・作品を選んだ。

特集◆BOOK HUNTING 2014◆

本当は、カーやヴァン・ダインが読みたかったが、在庫がなく断念した。

今回選んだ中で、一番のお気に入りの作品は、綾辻さんの「囁きシリーズ」である。気になってはいたが、なかなか手に取れないでいたものだった。読んでみると、伏線の張り方が巧妙で、最後のドンデン返しも(特に「黄昏の囁

き」が)、流石綾辻さんだと思った。綾辻さんの作品では、「暗黒館の殺人」が一番好きだが、この「囁きシリーズ」も、どこか通じるようなものがあり、私は、本格物のミステリーに怪奇幻想系が混じっているような作風が好きなのだろうと再確認した。



『アリス殺し』
小林泰三
創元クライム・クラブ
東京創元社
913.6||Ko12



『名探偵の証明』
市川哲也
東京創元社
913.6||I14



『黒死館殺人事件』
小栗虫太郎
河出文庫
河出書房新社
913.6||O26



『ドグラ・マグラ』上
夢野久作
角川文庫
913.6||Y97||1
(C)角川書店



『ドグラ・マグラ』下
夢野久作
角川文庫
913.6||Y97||2
(C)角川書店



『鉄鼠の檻』
京極夏彦
講談社文庫
講談社
913.6||Ky3





本を探して三年目

社会福祉学科 3年 佐々木 舞子

私は、ブックハンティングに参加して今年で三年目になる。当然 **rapport** に載せていただく原稿を書くのも三回目、どんなことを書けばいいのかとネタも少々尽きてきたようにも思えた。しかし振り返ってみると、私もなんだか角が取れたというか、丸くなったというか。そんな気がする。

私は一年のころ日本史がとにかく好きで、己の好きな偉人を誰かに知らしめようと躍起になって偉人の伝記やら戦争の本を集めていた。振り返ってみるととても盲目だなあと感じる。しかし今回もやっぱり日本の陸海軍の食事の資料など選んでいるあたり、やはりまだ盲目的日本史好きは抜けきっていないのだなあと

反省した。しかし戦争の原因や軍国主義云々ではなく、陸海軍に生きた人たちがどんな生活を送っていたのか図表でもって知ることに焦点を当てて選んだつもりなので、純粋に雑学を増やすつもりで読めたら面白いかなと思う。

また、全体的に今回の選んだものは、映像化した作品や話題になった作品であるため、学生も手に取りやすいのではないだろうか。個人的に「半沢直樹」や「The Long Goodbye」というテレビドラマに熱中していたので、ぜひその原作を読みたいと思って選ばせていただいた。(今回は「The Long Goodbye」原作ではなく、そのドラマに出演されていた浅野忠信さんが主演をつとめる「私の男」の原作を選ばせてい



『「自分」の壁』
養老孟司
新潮新書
新潮社
304||Y84



『日の名残り』
カズオ・イングロ著
土屋政雄訳
ハヤカワ epi 文庫
早川書房
933.7||I73



『私の男』
桜庭一樹
文春文庫
文藝春秋
913.6||Sa46

特集◆BOOK HUNTING 2014◆

ただいた。)

さらに、ブックハンティングについてリクエストがある。それは、コミックエッセイを選出対象として欲しいということだ。コミックエッセイは確かにほとんどが漫画で、ブックハンティングの趣旨とは異なるということは明白かもしれない。しかし、本当に皆さんに読んでいただきたいと思う本が文章でなく漫画の体裁で表現されているというだけで、除外されるのはとても残念だ。私が今回選びたかったコミックエッセイは沖田×華さんの作品で、発達障害をもつ当事者の日々の苦労を赤裸々にえがいている。むずかしい参考書を読むよりも親しみやすく、頭に入りやすい。当事者に必要な支援や困っていることについて、支援者がもっと柔軟に考えることの助けになる本だと思う。ブックハンティングでは叶わなかったが、ここで小さく宣伝しておく。

機会があればぜひまたブックハンティングに参加して、自分の変化や成長を確かめながら、素敵な本を探していきたいと思う。最後に、選び取った本が、多くの人に読まれることを願って。



『海賊とよばれた男』上
百田尚樹
講談社文庫
講談社
913.6||H99||1



『海賊とよばれた男』下
百田尚樹
講談社文庫
講談社
913.6||H99||2



『写真で見える海軍糧食史』新装改訂版
藤田昌雄
潮書房光人社
394.021||F67



『写真でみる日本陸軍兵営の食事』
藤田昌雄
光人社
394.021||F67



『オレたちバブル入行組』
池井戸潤
文春文庫
文藝春秋
913.6||I33



『オレたち花のバブル組』
池井戸潤
文春文庫
文藝春秋
913.6||I33



『いちばんやさしいタロットの教科書』
ルナ・マリア
ナツメ社
148.9||R86





去年も参加したいと思っていたけれど人数オーバーでできず、今年は募集後即エントリーし念願かなって参加することになったブックハンティング！私はもともと本を読むのが好

きなほうなのですが、少し前はその時間も作るのが難しく、本から遠ざかっていました。今回このブックハンティングでは、興味はあるけれど普段自分で買うところまではこぎつけられないような本や、自分だけではなくほかの人にも読んでみてほしいような本を選ぶことができ良かったと思います。そして何より書店で多くの本に触れ、どの本を読もう、これも面白そう、これは深く考えさせられそう、などと様々な思いを巡らせながら本を選ぶのが、私にとってとてもわくわくする時間となりました。

まだ選んだ本は読んではいませんが、読むのがとても楽しみです。また、多くの人に本の良さやブックハンティングという機会の素晴らしさについて知ってもらえればと思います。



『自由であり続けるために 20代で捨てるべき50のこと』
四角大輔
サンクチュアリ出版
159.7||Y94



『嫌な女』
桂望実
光文社文庫
光文社
913.6||Ka88



『終わりの感覚』
ジュリアン・バーンズ著
土屋政雄訳
新潮 Crest・ブックス
新潮社
933.7||B23



『物語のある広告コピー』
パイインターナショナル
674||Mo35



『超訳ニーチェの言葉』
フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ著
白取春彦編訳
ディスカヴァー・トゥエンティワン
134.94||N71



『想像ラジオ』
いとうせいこう
河出書房新社
913.6||I89



『カラフル』
森絵都
文春文庫
文藝春秋
913.6||Mo45



『看護の時代：
看護が変わる医療が
変わる』
日野原重明/川島みどり
/石飛幸三著
日本看護協会出版会
492.9||H61



図書館
活用術

第1回

栄養学科准教授

浅田 豊

教育資源としての図書館を活用する可能性と意義

人、もの、施設、行事・プログラム、ある種の仕掛けといったような、教育資源に関するものの中の、有力な要素の一つである図書館、とくに大学図書館の役割は、専門的資料の蓄積・管理・提供、時事的情報の紹介、相談対応、ガイダンスの主催等と今日実に多様である。そのため、その活用術についても多角的に検討されることが、教育・学術研究諸活動の進展に役立っていくのではないだろうか。

平素の図書館の活用術を一つの可能性として探る営みと、筆者が科目責任者として取り組んできた高大連携事業におけるニーズとの合致が、ある活用方法を生み出したため、当欄をお借りし、その概略を紹介したいと思う。2年生前期配当の「グローバル社会と文化」は、大関教授との貴重なオムニバスにより展開し、国際社会の発展への貢献・地域社会への貢献という本学の教育理念に基づき、国際人としての資質の向上を目指した内容編成としている。

同科目の充実を目的とし、数年間、独自に構成した「図書館活用ツアー」を講義に接続している。対象は高校生を中心としているが、自由かつ主体的参加をねらいとしているため、他大学からの科目等履修生や編入生も適宜受け入れている。ツアーの事前準備として、図書館職員の方々と連携し、科目責任者にて、グループ学習室と、パソコン検索コーナー（スペース）の予約・確保をまずは行う。ツアー当日は、講義教室でのガイダンスを経て、図書館内で検索、図書の見つけ出し、講読、貸出等の一連の手順に関し、指導を行ってき

た。同ツアーは、科目の内容である開発と文化に関する思考や、国際社会における健康問題・グローバルな観点からの保健医療福祉についての知識・理解の深化に非常に役立っていると思われる。

ツアーとしては、対象に応じて柔軟に、そのプログラムをアレンジできるため、一定の汎用性が意義として考えられる。本学の先生方にとっても、是非ご参考にしていただけると幸いである。

図書館活用ツアー実施後

授業の際はご相談させていただき、ありがとうございました。



いいえ、こちらこそ活用いただき、ありがとうございました。

図書館職員の方とともに授業の様子を振り返ってみました

それは良かったです。検索も順調に進んでいたようですか？



はい。一定時間、予約の立て札をご準備いただいたため、順調に進みました。

このルームで話し合いができるので、生徒・学生の疑問を速やかに解決し、討議ができました。



本学では学生一人あたりの貸出冊数が多いんです。よく勉強している証拠だと思います。



本学の図書館は専門図書、雑誌ともに充実していますね。

高校生のみなさんも図書を借りられていましたが、自動貸出装置の操作は、難しい様子でしたか？

いいえ。問題なく使えていたようです。図書館職員の皆様に、きめ細やかにサポートいただき、心強く思っています。



複写依頼を申請したら…

今回は、My Library で文献複写の取り寄せを依頼したあと、どのようにすればいいのかをご案内します。

文献入手までスムーズに進むように、次の①～④の手順を踏んでください。

① 申請後数日は My Library にログインし、連絡事項がきていないか確認する

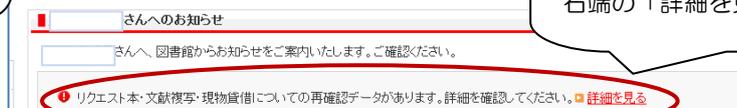
①図書館 HP から
My Library に
ログインします。

注：パスワードを忘れた
場合は、学生証を持って
カウンターへGo!



*ログインは HP にアクセスすれば、学外からでもできます。

②連絡事項がある場合は、画面中程にこのようなお知らせが表示されます。右端の「詳細を見る」をクリック。



③再確認の文字の前にある **+** マークをクリック。

④確認の必要な申請データが出てくるので、1 件ずつクリック。

表示状態条件	全て						
申請状態	申請区分	申請日	送付方法	申請館	書名	申請番号	その他
+ 再確認							1件
再確認 (処理待ち)	複写依頼	2014/07/08	普通	図書館	日本地域看護学会誌	0020140960	



⑤画面上部に赤い文字でメッセージが表示されます。内容に応じてデータの修正をしたり、連絡欄に回答を入力したりし、申請または取消へと進みます。

Q どんなときに My Library に連絡事項が届くの？

A だいたい3つのケースがあります。

1. 当館に所蔵があるか、Web で公開されているなど、他館から取り寄せる必要がないとき
→配架場所や URL の情報など、どのようにしたら文献を入手できるのかをお知らせします。
2. 通常よりも高額のコストがかかる場合など、依頼者の判断を仰ぎたいとき
→問い合わせをお送りしますので、回答の入力や申請の取り消しをお願いします。
3. 申請データに不備があるとき
→必須項目が入力されていない、データに間違いがある等。データが正確でないと他館に依頼を出せないの、文献情報をよく確認して、訂正や追加入力をお願いします。
(このケースが一番多いです。特に、メモ欄に典拠の入力がない場合が多いです。注意！！)

Q 連絡事項が届かないときは、何もなくていいの？

A 申請内容に問題がなければ、すぐに他館への依頼処理に移っています。あとは到着のメールが届くのを待つだけなので、手順②へと進んでください。

② メールをこまめにチェックする



到着のお知らせは、yahoo メール（学籍番号のアドレス）に届きます。

複写依頼申請後はこまめにチェックしてください。（通常は申請後5～10日くらいで、早ければ3～4日で届きます。）

メールには、届いた文献の数、論題、合計金額、支払方法が明記されています。

③ 事務局総務課のレジで支払う

平日 8:30～15:00 の間に、事務局総務課のレジで支払います。

支払いの目的と氏名を言います。

「〇月〇日のお知らせが来ました」と、到着メールが届いた日も伝えると、スムーズに対応してもらえます。

お店ではないので、**お釣りが出ないように金額を準備**してください。



* 特別な機関から取り寄せた時などには、図書館カウンターで支払うこともあります。その場合は、到着メールで詳しくご案内します。

④ 図書館カウンターで文献を受け取る



取寄せた文献が、レポート or 研究を良いものにする材料となりますように！

レジで発行されたレシートを持って、図書館カウンターで**氏名**を言います。（レシートは確認後返却されます。）

届いた文献に間違いがないかのチェックと、受け取りのサインをして終了です。

料金が発生しているものですので、到着メールが届いたら、なるべく早く支払いと受け取りを済ませてください。





図書館広報キャラクター「トリゾウ」

2011年3月、社会福祉学科成田悠介さん・福士悠輔さん・牧野祥諒さんのアイデアをもとに誕生。図書館の広報活動で活躍しています。



青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第23号

平成26年11月 発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/library/index.html>